

優秀賞



設計者

星野時彦

東京建築士会、鹿島建設(株) 建築設計本部

事務所・店舗

新潟県南魚沼市長森

八海山雪室

構造・階数

鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
地上2階建て

敷地面積

73,522.04㎡

建築面積

1,677.82㎡

延床面積

1,797.98㎡

竣工

平成 25 年 5 月 31 日



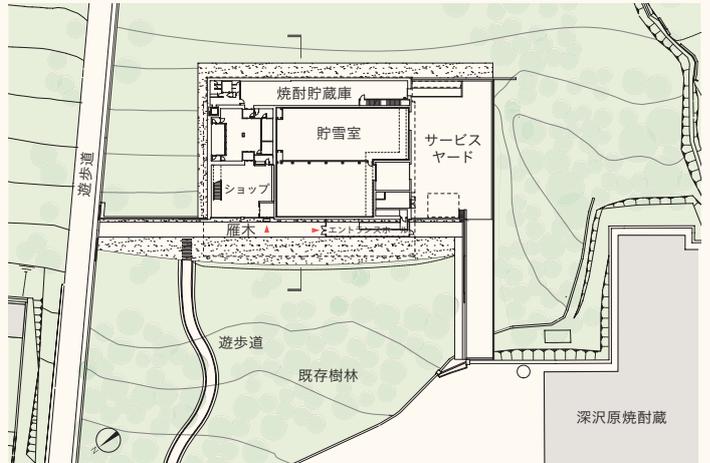
A



B



C



配置・平面図

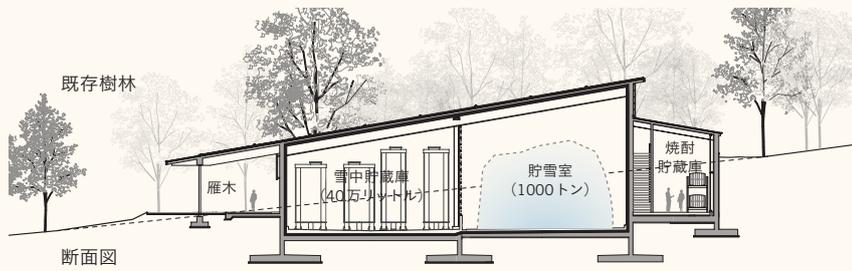
選評

日本の美しい田園風景が続く米処魚沼の山裾に、雪を利用して醸造酒を氷温貯蔵するこの雪室は佇んでいる。

地形になじむように大地に半ば埋めた形で配置され、片流れの大屋根がさわやかな雑木林の木立を上ってきた訪問者を待ち受けている。その大庇のアプローチ空間は、まさにこの雪深い地域の生活の知恵であった雁木空間である。打放しの深い庇がスチールの柱列で支えられ、鋭角な光をたたえる大ぶりの黒碎石の犬走りの静かな空間のその先に新緑の木立が領域を創る。前室の手前には、ガラスファサード越しに暖かい木の床のショップが望まれ、静謐のアプローチ空間が実現している。

1,000トンの雪によりお酒を冷温貯蔵する雪室は、冬集められた雪が一年中残り、実際安定した温度を保っているのは驚きであったが、野菜や干し魚などの特産物も熟成させて、まさに雪により自然の恵みを封じ込め、地域の文化の魅力を伝えている。

酒蔵、そば屋、麴を使った洋菓子の店など一群の来客施設が集まっていることも地域おこしとして有意義に感じられたが、そのばらばらな配置計画と、趣の異なる外装には違和感を感じずにはいられなかった。とほいうものの、自然と共生した雪室の佇まいとアプローチ空間のすばらしさ、雪を利用して地域おこしを図る姿勢は大きな可能性を持っており高く評価したい。(櫻井 潔)



- A 建物外観。大地に埋めて地形になじませている
 - B 大庇と周囲の木立がつくりだす静謐な空間
 - C 貯雪室。左手に来館者用の見学ブリッジ。1,000トンの雪で酒を冷温貯蔵している
 - D エントランスホールへと続く雁木空間。大庇をスチールの柱列が支える
 - E 焼酎貯蔵庫
 - F 暖かみのある木の床で仕上げられたショップ
- 写真撮影A・B…解良信介(アーバン・アーツ)
写真撮影C・D・E・F…島尾 望(エスエス東京)



D



E



F